

## 6 仕様

項目	仕様
定格電圧（定格周波数）	AC100～254V、50/60Hz
消費電力	7.1W
調光信号入力	PWM信号、DC12V、1kHz、消費電流：2.5mA
調光信号出力	PWM信号、DC12V、1kHz、最大出力電流：300mA
信号制御連続調光器具接続台数	最大120台（LED電源台数）
使用環境	使用周囲温度：0～40℃ 使用周囲湿度：85%RH以下（結露しないこと） 屋内（但し、水、水蒸気、熱気、直射日光のあたらないところ、腐食性ガス、振動、結露のおそれのない場所）

## 7 点検

1. 電源表示ランプ（赤LED）は下記の内容を示します。      2. 短絡表示ランプ（黄LED）は下記の内容を示します。

電源ランプ（赤）点灯状態	動作及び処置	短絡ランプ（黄）点灯状態	動作及び処置
点灯	通電中	点灯	調光信号線が短絡しています。 配線を確認してください。 または、本器に照明器具が最大接続台数より多く接続されています。
消灯	本器に電源が通電されているか確認してください。	消灯	正常に動作しています。

3. その他異常の場合

異常内容	確認事項	対処方法
照明器具が点灯しない	照明器具に電源線が正しく接続されていますか。	照明器具の電源線を確認に接続してください。
照明器具が調光しない	調光信号線が確実に接続されていますか。	調光信号線を確認に接続してください。

- 上記をご確認の上、なお異常がある場合は、直ちに電源を切り、お買上げの販売店にご相談ください。

## 8 保証とアフターサービス

〈無償修理規定〉

- 保証期間内に故障して、無償修理をご依頼の場合は、お買上げの販売店にご相談ください。
- 無償保証期間及び範囲
  - 据付けた当日を含めた1年間としますが無償にて支給、修理するのは、故障した部品または当社が交換を認めたユニットに限ります。ただし、3項に記載する使用方法による損傷や故障については、保証期間内であっても修理は有償となります。
  - 無償保証期間経過後の修理につきましては、お買上げの販売店にご相談ください。
  - 本機の修理用性能部品の最低保有期間は製造打切り後6年です。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
  - 修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買上げの販売店にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有償修理になります。
  - (1) 仕様範囲外で使用したことによる事故、損傷や故障の場合
  - (2) 改造した場合
  - (3) 操作方法、調整、定期点検が不備なことによる事故、損傷、故障の場合
  - (4) 据付け場所不備による事故、損傷や故障の場合
    - ・化学薬品及び強電界等の特殊環境条件
    - ・結露、塩害、有害ガス等
  - (5) 据付け工事に不都合がある場合
    - ・据付け工事中取扱い不良のための事故、損傷や故障の場合
  - (6) 火災、地震、風水害、落雷その他天災地変、公害や異常電圧による事故、損傷や故障の場合
  - (7) 本機事故に起因した営業保証等の2次保証はいたしません。
  - (8) その他、据付け、操作、調整、保守、取扱いで常識となっている内容を逸脱した誤使用による事故、損傷や故障の場合は保証できません。
- 本製品は日本国内専用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。  
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.  
No servicing is available outside of Japan.
- この保証内容は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがってこの保証内容によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

## 異常時の処置



## 警告

煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合は、すぐに電源を切る。  
感電、火災の原因となります。  
煙が出なくなるのを確認して、お買上げの販売店にご相談ください。

取扱い・修理のご相談は、まず  
お買上げの販売店・施工者・設備業者へ

三菱電機株式会社  
三菱電機照明株式会社

〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船 2-14-40

☎相談窓口 照明技術相談センター  
0120-348-027 (無料)  
受付時間 9時～17時 (土・日・祝日は除く)  
FAX (0467) 46-8861

この説明書は、再生紙を使用しています。

お買上げの販売店等にご依頼できない場合は、ご相談窓口へお問い合わせください。

三菱照明制御器  
信号増幅端末器

形名 MS401A

## 施工・取扱説明書

このたびは三菱照明制御器をお買上げいただきありがとうございました。

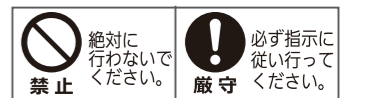
（お客さま・施工者さま向け）

この取扱説明書は三菱照明制御器「信号増幅端末器」の施工及び取扱いについて記載しております。よくお読みのうえ、正しくお使いください。

- 据付工事は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- お使いになる方は、いつでも見られる所に保管し、移設、修理の時は工事される方に、またお使いになる方が変わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しください。  
※本器は弊社の信号制御調光器、MILCO.S コントローラとの組み合わせでご使用になれます。  
（本器単体でのご使用はできません。）

## 1 安全のために必ず守ること

図記号の意味は次のとおりです。



- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

警告		誤った取扱いをしたときに、死亡や重症などの重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。	
禁止	改造・修理は絶対に行わない。 感電、火災等の原因となります。	禁止	本機を布や紙など燃えやすい物で覆ったり、かぶせたりしない。火災の原因となります。
	本機の隙間や穴に金属類を差し込まない。 感電、火災等の原因となります。	厳守	据付けは重量に十分に耐える所に確実に行う。 強度が不足していると本機の落下により、けがの原因となります。
電源を入れたまま本機の据付け工事、お手入れをしない。 感電の原因となります。	電気工事は、電気工事士の資格者が「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び本説明書に従い施工する。 施工不備があると感電、火災等の原因となります。		

## 注意

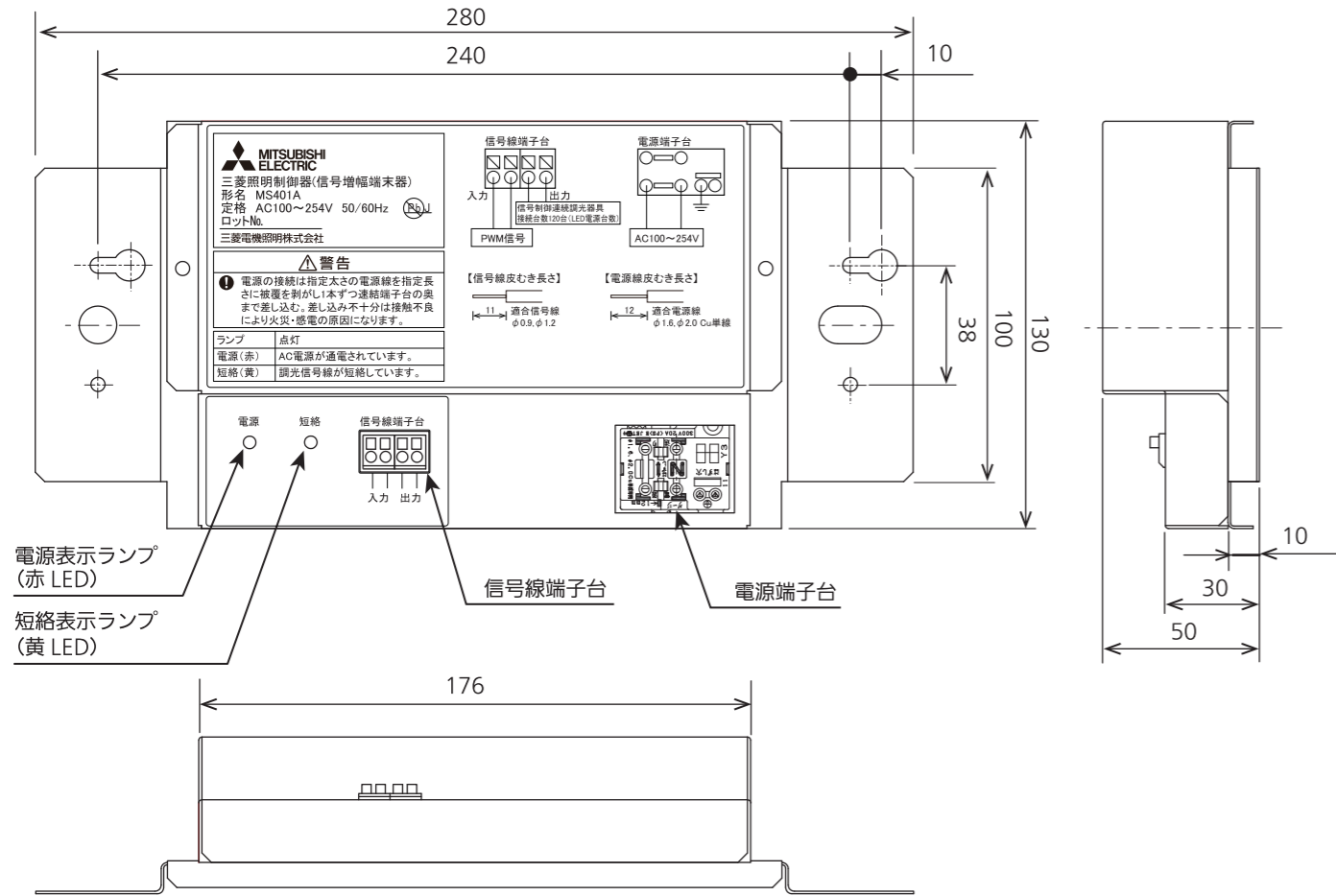
禁止	信号線端子台に〈AC100V等〉の電源線を接続しない。 感電、火災の原因となることがあります。	禁止	適合の電源線を指定長さに被覆を剥がし、1本ずつ速結端子の奥まで差し込む。 差し込み不十分は接触不良により、火災の原因となることがあります。
	可燃性ガスの漏れる恐れのある場所に据付けない。 火災、爆発の原因となることがあります。		乾燥不十分なクロス貼り、コンクリート面には据付けない。 絶縁不良やさびにより感電、火災の原因となることがあります。
	表示された電圧以外の電圧で使用しない。 感電、火災等の原因となることがあります。		当社の信号制御連続調光用照明器具以外には使用しない。 器具が過熱して火災の原因となることがあります。

## 2 現地手配部品

据付けには下記のものが必要です。現地に手配してください。

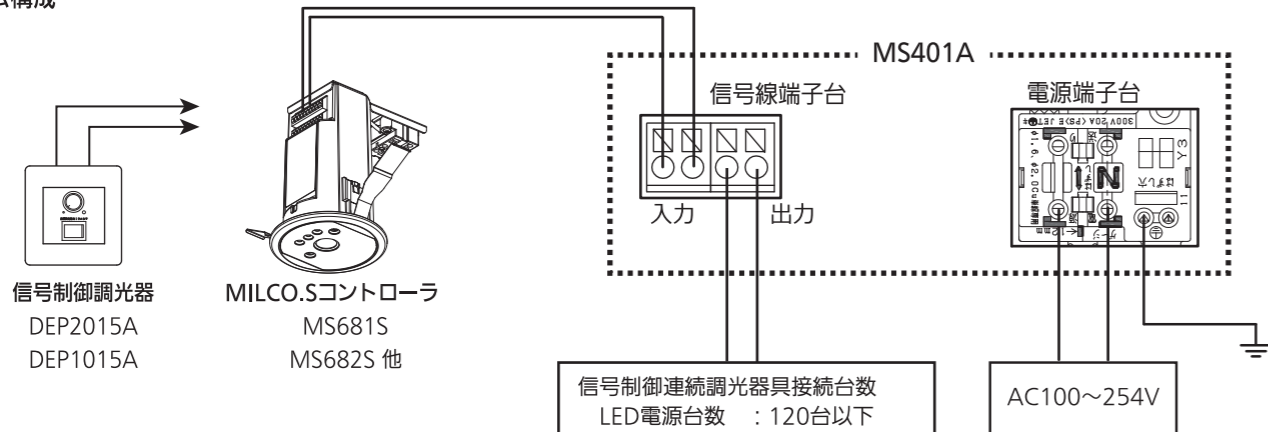
接続電線	種類
電源線	VVF3 φ1.6, φ2.0mm
調光信号線	CPEV, FCPEV φ0.9, φ1.2mm-1P
取付ねじ	M4ねじ 4ヶまたはM6ねじ 2ヶ
吊りボルト	ネグロス電工株式会社製TPC-4B、MSR-B4

## 3 各部の名称と外形図



## 4 システム構成・接続

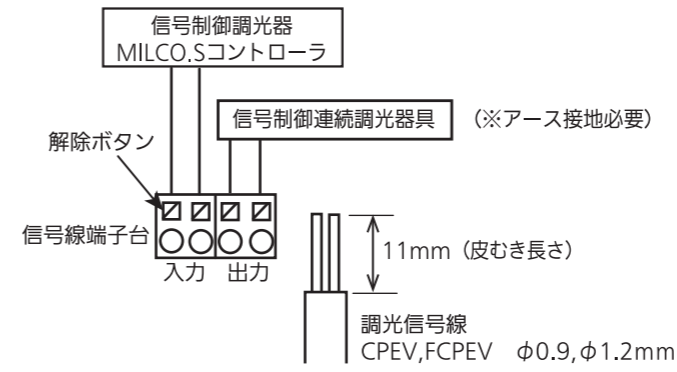
### 1. システム構成



### 2. 調光信号線の接続

調光信号線は信号端子台の差込穴に確実に差し込んでください。

《接続図》



調光信号線配線長（最大配線長）

接続信号線	配線長
CPEV, FCPEV	φ0.9mm 100m以内
(※1)	φ1.2mm 200m以内

(※1) やむを得ずCPEV-Sを使用する場合は、シールド線の渡りと1点アース接地を実施のこと。

■各接続電線は動力線、高圧線の近接や束線を行わないでください。また接続電線と動力線、高圧線が平行する場合の離隔距離は下記表にしたがってください。

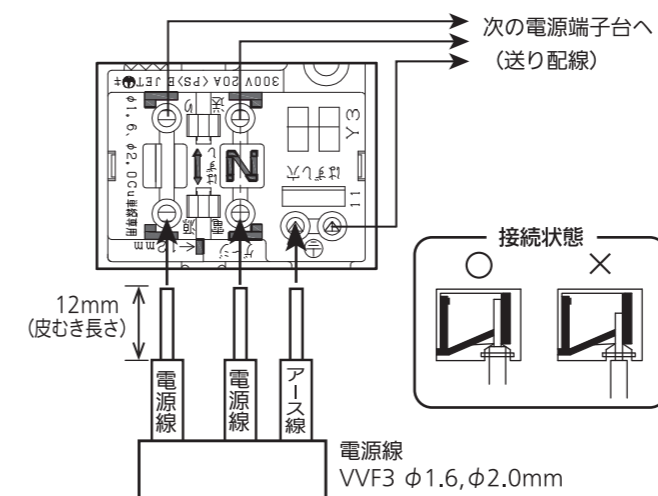
条件	配線長
600V以下の低圧動力線	300mm以上
その他高圧動力線	600mm以上

**警告** 調光信号線は剥き線部分が外に出ない様に確実に差し込んでください。また差し込んだ後は線を軽く引っ張り十分に差し込まれていることを確認してください。

### 3. 電源線の接続

電源線は電源端子台の差込穴に確実に差し込んでください。

《接続図》



お願い

■電源線を外す場合は、マイナスドライバーで解除ボタン（黄色部分）を押しながら引き抜いてください。

■電源には専用の分岐ブレーカーを用意してください。

**警告** 電源線は剥き線部分が外に出ない様に確実に差し込んでください。また差し込んだ後は線を軽く引っ張り十分に差し込まれていることを確認してください。差し込み不十分は、接続不良により、感電、火災の原因になります。

**警告** アース工事は電気設備の技術基準に従い行う。アース工事が不完全な場合は感電・火災の原因になります。<D種(第3種)接地工事が必要です。>

## 5 取付け方法

### 1. 取付け前の確認

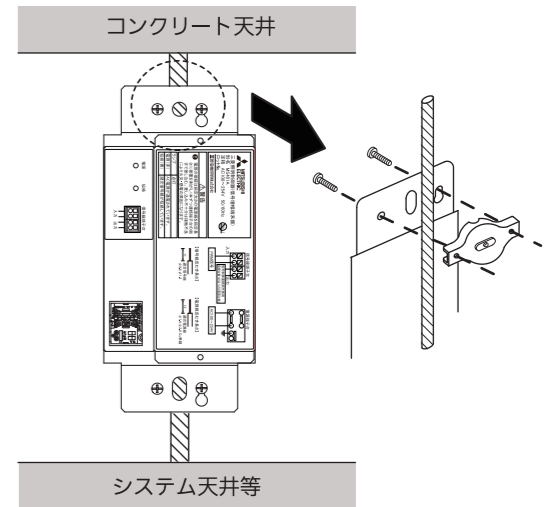
- 本器を壁面等に取付ける場合にはM4ねじで4ヶ所または、M6ねじで2ヶ所を固定してください。
- 本器を吊りボルトに固定する場合には、ネグロス電工株式会社製TPC-4B、MSR-B4などをご使用ください。（取付け方法は右図を参照）
- 器具質量（0.6kg）に十分耐えるように取付け部の強度を十分確認してください。
- 補強材を入れる場合、天井内で動かないように固定してください。

**警告**

- 本器の据付けは質量に耐える所に取付ける。落下の原因になります。
- 断熱施工天井には取付けしないでください。火災の原因になります。
- 据付け位置に断熱材・防音材を使用している場合には必ず本体と断熱材・防音材は10cm以上距離をお取りください。また、電源線は断熱材・防音材の上側にくるよう配線してください。

### 2. 調光信号線・電源線を接続する

詳細は **4 システム構成・接続** をご覧ください。



※吊りボルト固定金具は付属していません。吊りボルト固定金具は、ネグロス電工株式会社製のTPC-4B、MSR-B4などをご使用ください。